

甲良民報

2007年3月18日 353号
 発行責任：日本共産党甲良町支部
 代表：西澤伸明 甲良町在土 463
 Tel.Fax38-4949

▼Eメール info@jcp-nobuaki.com
 ▼のぶあきホームページ
<http://www.jcp-nobuaki.com/>

請願への態度で 民・公・社民・対話の会も 正体あらわ

19日9時本会議開会

19日再開の3月議会は、付託された案件について委員長の審査報告、討論、採決など、そして、中田、西澤、山田各議員の順で一般質問が行なわれます。

役場前から
 アイムまで

やっと歩道つきます

このほど、県道役場前交差点からアイム前交差点までの西側歩道工事が近々始まると、茶木建設主監より連絡がありました。今までこの箇所は車両通行量が頻繁なうえに、凸凹で雑草が生い茂り大変危険でした。歩道を利用しようとすれば東側まで渡らねばならず、不便なため、住民の年来の要望でした。日本共産党も森県会議員が視察するなど10年前から県への要請を続けていました。



久光さん側から撮影

長寺・呉竹教育文化振興費： 学習他242万/修学旅行補助38.6万

19年度予算議論から
 予算の偏りのひとつに長寺・呉竹教育文化振興費の学習会他に長寺で73万、呉竹で16.9万円も使いながら、小中学校の修学旅行補助に38万6千円しか計上してない歪みがあります。西澤議員は9日の総務文教常任委員会の審議でこの学習会他は何に使っているのか質問。大橋社会教育課長は両センターに任せており、課としてはつかんでいないと答弁。以前、監査で区役員等の旅行に使っていると指摘されたが、との西澤議員の間に、そんなことはないかと否定。西澤議員は何に使ったのか課長が掌握していないのどうして分るのか、と批判。保護者負担軽減を求める声に、従来から「予算が無い」との口実で引き上げを拒んでいる姿勢に、どちらを大事にしているかが問われます。

ムダなくせの請願拒否

「すべて採択を」は共産党だけ



桐山ヒサ子県議

党県議団が予算案に賛成 一部積極面を評価

滋賀県議会は十三日の最終日、森田田代知事の初の予算案を全会一致で可決しました。日本共産党の桐山ヒサ子県議は、予算案への討論に

「滋賀県議会は十三日の最終日、森田田代知事の初の予算案を全会一致で可決しました。日本共産党の桐山ヒサ子県議は、予算案への討論に

百七人の署名を添えて提出されていた「ムダをやめて県民の幸せを実現する」請願が十三日、自民、公明、民主、無所属議員が採択に反対して不採択となりました。日本共産党だけが県民の切実な当然の要求である七項目すべての採択を主張し

「滋賀県議会は十三日の最終日、森田田代知事の初の予算案を全会一致で可決しました。日本共産党の桐山ヒサ子県議は、予算案への討論に

自、公、民など
滋賀県議会

不採択に反対しました。若者の正規雇用など、そのほかの三項目の不採択に賛成しました。

大規模却揚反対の旧志賀町(現大津市)住民の応援で当選した、民主国会派所属の岡崎基子県議は、大規模却揚を四項目の採択で棄権し、三項目で不採択に賛成。

ムダをなくし、暮らしを守る請願への態度は、県議団の重大争点として県民の審判を受けます。

3月14日「しんぶん赤旗」より転載

だれにも遠慮せず、
 真実を伝えます。

しんぶん赤旗
 日刊/月2,900円
 日曜版/月800円

滋賀民報
 週刊 月350円